



和楽会「昇」のみなさんによる和太鼓の迫力ある演奏は会場を沸かせました。

てんてん祭り2009を開催して

てんてん祭り実行委員会 委員長
木村 勝文

10月10日、台風一過の青空の下 今年も共和病院文化祭・てんてん祭りを開催しました。

文化祭のテーマは、2006年「和み」2007年「繋ぐ」2008年「彩る」に続き、4回目となる今年は「笑み」に決められました。このテーマには、患者様が快適な療養生活を送られる行事として、多くの地域の方・患者様・ご家族・職員・ボランティアさん、参加される全ての方に笑顔があふれる交流の場であって欲しいという思いが込められています。

実行委員会は、ステージ企画・催し物・模擬店・広報の4項目に分け検討を重ね、様々な企画を練ります。今年は、当院と繋がりのあるメーカーの出店や、地域の小規模作業所など、幅広い方々に参加していただきました。

地域の公共施設や小学校へのポスター掲示、関係機関及び患者様のご家族へのご案内、広報や新聞でのお知らせ、さらにケーブルテレビでの紹介及び当日の取材など様々な宣伝協力を得て、今年の参加及び来場者は、地域の皆様や関係機関、外来患者様及びご家族399名、入院患者様114名、その他職員、ボランティアさんを含め、総数724名の方々にご参加いただき、昨年より約200名増となりました。地域のお祭りとして、定着してきた実感があります。

様々な催し物の中でも注目は、和楽会「昇」のみなさんです。魅せる演奏、地面や建物に響き渡る和太鼓と津軽三味線の演奏には、女性7名とは思えないほどの迫力があり、観客からは自然と手拍子がおこり「生の太鼓は久しぶりに聞いた『力強い、かっこいい』という喜びの声もあり、大好評でした。

スタンプラリー・キッズプレイコーナー・記念写真・ストラップ製作などは、ご家族での参加が多く、様々な笑顔の一番を決めるスマイルフォトコンテストでは、「笑った顔は見ている方も楽しくなる」と、たくさんの参加、投票に恵まれました。クラシックカー展示は、子供たちが喜んで記念写真を撮る光景もみられました。

メタボリックシンドロームなどの健康管理が注目されるなか、当院での健康チェックや血糖測定に興味を持たれる方も多く、「メタボに気付いた」との感想も多く聞かれました。

楽しかった、パワーを貰いました、記念になりますなど、アンケートからも好評な意見を数多くいただきました。

この催し物を通して出演して頂いた方のエネルギー・パワーに感動して頂き、みなさまが共に「笑み」となり、楽しんでいただければ幸いです。ありがとうございました。



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

てんてん祭り2009の報告

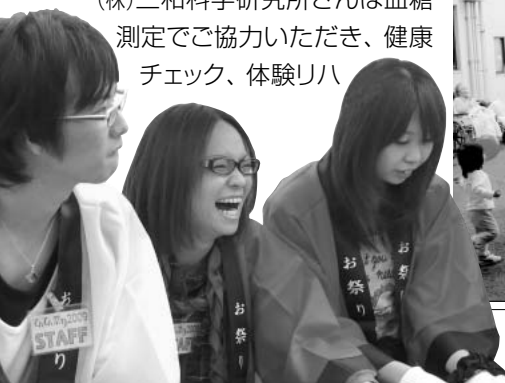
てんてん祭りは、以前は体育の日(10月10日)に開催しており、今年は名前の由来である10月10日の開催となりました。

開催の数日前、東海地方への台風上陸が予報され、開催を心配する声があり、10月8日早朝、知多半島に最接近しました。しかし9日は晴れ、準備から大きな問題もなく無事開催することができ、皆ほっと胸を撫で下ろし当日を迎えました。当日は快晴となり、昨年よりもさらに多くの方にご来場いただきました。



中駐車場では焼きソバ、ポップコーン、焼き鳥などの模擬店が立ち並びました。予想以上の盛況で早い時間に売完となっており、慌てて追加を用意するハプニングもあり、うれしい悲鳴となりました。模擬店の一部では、当院農耕クラブの患者様は野菜販売、福祉ホームあしびのご利用者様は綿菓子で参加して頂き、来場された皆様と交流することができました。ほかに、共和病院家族会「さつき会」はパン・フランクフルト、精神障害者小規模作業所どりっぴの皆さんはシフォンケーキとコーヒー・紅茶、愛知ヨーク(株)さんはヨーク・ヨーグルトの販売で参加して頂き、盛り上げて頂きました。

(株)三和科学研究所さんは血糖測定でご協力いただき、健康チェック、体験リハ



ビリなど、病院ならではの企画もあれば、当院職員が所有する1950~60年代のクラシックカー展示、今回のてんてん祭りのテーマ「笑み」に沿った企画のスマイルフォトコンテストなど、いろいろ楽しんでいただける内容も行ないました。スマイルフォトコンテストは、患者様、職員、ご家族から



素敵な「笑み」を写真で披露していただき、来場して頂いた皆様に「笑顔の中の笑顔」を投票して頂く企画でした。お子さんの無邪気な笑顔、夫婦の微笑ましい笑顔など、たくさん集まったなか、一番多く得票した方は当院の入院患者様でした。ステージで表彰状と記念品を贈呈し、その表彰式の時も、とても素敵な笑顔でした。

オープニングセレモニーとステージは、神奈川県を中心に活動されている和楽会「昇」のみなさんをお迎えし、すばらしい迫力ある和太鼓と津軽三味線の演奏を披露していただきました。またステージでは、患者様・職員が参加して、ダンス、詩吟、



バンド演奏や弾き語りなどの楽しい演目が行われ、大変盛り上がりました。

実行委員会の中には、初めて参加した人も多く、始めは戸惑うことが多くありました。しかし、メンバーでアイデアを出し合い、多くの方からアドバイスをいただき、準備を進めることができました。回を増すごとに進化するてんてん祭り、今回は「笑み」をテーマに



企画・ステージ・模擬店とそれぞれ新たな企画・試みを盛り込み、各ブースで大人も子供も楽しんでい



だき、笑顔を沢山見ることができました。これからもてんてん祭りを地域の皆様・患者様・ご家族・職員が楽しく過ごす場とし、交流が増え、より当院を知っていただく機会としていきたいと思っております。

最後となりましたが、当日ご来場頂いた皆様、スタッフ、ボランティアの方・その他ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。心より感謝の意を申し上げます。てんてん祭り2009のご報告とさせていただきます。

(てんてん祭り実行委員一同)

薬剤課

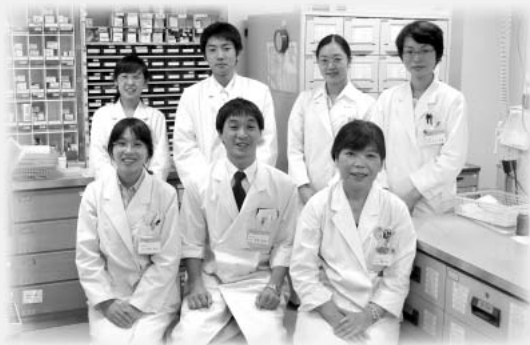


薬剤課はその名の通り、お薬に関するさまざまな業務を行なっています。場所はA館3階(第2外来待合室前の階段を上がった3階のすぐのところ)にあります。

主な業務は入院されている患者様の内服薬、外用薬、注射薬の調剤と服薬指導および消毒薬などの取り揃えです。また、処方箋をもとに薬の量や使用方法、薬どうしの飲み合わせ(相互作用)をチェックしてお薬の安全性を確認し、お薬の作用や副作用について病棟スタッフや患者様に説明を行なっています。

外来の患者様については現在特定の薬剤を使用されているなどの場合のみ薬剤課で調剤させて頂いていますが、それ以外は院外処方となっています。

そのほか、医療安全管理、院内感染対策、褥瘡対策などの委員会や、栄養サポートチームにも参加し、積極的に関わっています。



もともと薬剤師3人、調剤補助1人の体制だった薬剤課ですが、今年に入って薬剤師が3人増え、現在は薬剤師6人、調剤補助1人となっています。この紹介を書かせて頂いている筆者も新しく入職したうちの1人です。薬剤師の人数が増え、この先より充実させていけると感じているのが薬剤師による病棟業務です。当院薬剤課は調剤の機械化が進んでいるため、調剤を効率良く行ない、各薬剤師が調剤以外に少しでも多く病棟へ出られるように業務シフトを考えて運用しています。病棟へ出ることによって医師をはじめ医療スタッフ、入院されている患者様から直接情報を得ることができます。それをもとに、薬剤師という薬を扱う立場の者としての視点から、必要に応じて情報提供を行ない、よりよいチーム医療を実現するための力のひとつとなれることを目標に、日々の業務を行なっています。

薬剤師 森川 裕子

大府市福祉・健康フェアに参加して

“さあ、笑おう! 遊ぼう! 楽しもう!”ということで昨年に引き続き大府市福祉・健康フェアに参加してきました。9月27日(日)大府市保健センター周辺は真夏が戻ってきたかと思うほどに太陽が照りつけていましたが、会場は多くの方で賑わっていました。



今年で27回目となる大府市福祉・健康フェアには大府市内で福祉や健康に関する活動をしている70以上の団体が参加し、それぞれの活動紹介をはじめとして、福祉相談、各種体験コーナー、チャリティーバザーなど、毎回様々な催しが行なわれています。石ヶ瀬会館前に設置されたイベント会場では和太鼓演奏やストリートダンス、ピエロたちの大道芸、また当院の盆踊り等にも出演していただいている“でらおおふ”の鳴子踊りなどもありフェアを一段と盛り上げていました。

共和病院は今回で3回目の参加でした。訪問看護ステーション「ソレイユ」と共に機関の紹介を行なった他、文化祭の案内も行いました。時期的にも“てんてん祭り”を宣伝する絶好の機会。用意した100枚の案内ピラは約1時間で配り終えてしまったため、追加で150枚印刷しましたが昼過ぎまでにはそれらもすべて配り終えてしまいました。もともと福祉や健康に興味をお持ちの方が多かったこともあり案内のピラを好意的に受け取ってくださる方が多かったようです。中には「えっ! 病院でお祭りするの!」と興味をもって頂いた方もいて、当院の取り組みを知ってもらう手段としてこのような催しに参加していくことの大切さを改めて感じました。

今回参加した団体のうち唯一の医療機関が共和病院でした。精神疾患は、その分かりづらさ故、一般に理解が得られにくく社会生活に支障が生じる場合があります。地域の方々へ精神疾患を正しく理解していただくため、また患者様の円滑な社会復帰を実現する環境作りのためにも、今回のような催しに積極的に参加していくことは非常に意義深いものがあると思います。これからも病院を飛び出して地域の活動にどんどん参加していきたいと思っています。

デイケアセンター フリーシア
精神保健福祉士 小島 誠生

編集後記

秋の深まりを感じる季節となり、皆さまにおかれましては、思い思いの秋を楽しんでおられることと思います。

今年は世界的に新型インフルエンザが流行し、小中高校等で休校、愛知県でも警報が発令されました。インフルエンザは、まず予防第一です。手洗いとうがい、十分な睡眠、栄養、保温保湿を心掛け、これからやってくる冬を乗り切っていきましょう! さて今回の広報誌は、いかがでしたでしょうか。2000年に



始まった広報誌も早いもので9年目を迎え、第40号となります。広報誌を読んで頂いている皆さまに、当院の取り組みや、より新しい情報など楽しんで頂ける内容とっておりますが、何かお気付きの点やご要望等ありましたら、病院のご意見箱(ふれあいポスト)に入れて頂けたらと思います。今後も、広報誌により親しんで頂けるよう取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。(M.A)

「笑う介護士」^{そでやま}袖山卓也さん講演会
『看護部・病棟・自分の
元気の素を考える』

毎年8月に、看護部教育委員会では介護課が企画して集合教育を行なっています。今まで、介護業務の基準手順書の発表や、業務改善の取り組みについて発表してきましたが、本年度は介護課職員同士話し合った結果、外部から講師をお招きして、講演会を開こうということになりました。外部から講師をお招きするのは介護課企画としては初めての経験です。✓

重度心身障害を持つ方を支援するサークルに入ったことで、それ以来、介護の仕事

が好きで誇りを持ってやってきたそうです。「自分は目の前の人に何をやってあげられるのか。想像力を働かせて、その人の人生に迫っていくことで介護そのものにやりがいを感じられる。入浴・食事・排泄自体が介護なのではなく、その先の生活を見据え寄り添っていくことが介護の本質であること。



その外部講師には、看護部教育委員会の年間テーマである『元気の素』というキーワードにふさわしい方ということで、「笑う介護士」として著名な袖山卓也さんにぜひ来てほしいという意見でまとまりました。さっそく袖山さんに打診したところ、快諾をいただくことができ、今回の講演が実現しました。

8月26日、多目的ホールに約80名の参加者が集まり、講演会が開催されました。袖山さんは、壇上、熱のこもった声でホワイトボードを使いながら、仕事として介護に携わる上での心構えについて、ご自身の介護経験を踏まえて、お話されました。袖山さんが介護・福祉の仕事に入るきっかけとなったのは、大学時代に知的障害や



観察眼を鍛えて、介護を受ける側の気持ちを知って動くことが必要です』など、それぞれ話題を出されて話されました。終始一貫して、介護という仕事に対する真摯な姿勢が伝わってくる講演でした。

その熱意ある言葉の一つひとつが、仕事への新たな視点を加え、参加者の元気へと繋がったのではと思います。

介護課 今村 諭史



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは!

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは!

- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

- 1.あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
- 2.あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
- 3.あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自身の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
- 4.あなたの医療上の個人情報は保護されます。
- 5.あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。

院長 安藤 勝久



お知らせ

- 11月14日(土)
平成21年度 知多半島地域「こころの健康フェスティバル」に参加します。
● 場所/阿久比町勤労福祉センター (エスペランス丸山)
● 時間/10:00~16:00
- 12月29日(火)~1月3日(日)
年末年始により外来診療を休診させていただきます。
※詳細は、追って院内掲示等でご案内いたします。

特定医療法人 共和会 **共和病院**
愛知県大府市梶田町2-123
TEL.0562-46-2222(代)
URL <http://www.kyowa.or.jp/>